

日本語構造伝達文法は唯一の日本語科学文法

[国語文法は科学でない]

国語文法というものがある。長い伝統につかわれた文法であり、学校でも教えられている。しかし、国語文法は科学か、と問うとき、答えは否である。

[欠陥のある伝統]

長い伝統というものは、その中に致命的な欠陥がある場合、人々がその伝統を大事に受け継げば受け継ぐほど、誤謬をますます大きくする。権威主義の強い日本であれば、なおさらのことである。

[研究者も教育される]

学校で教えられている国語文法は、日本人に共通理解をもたらした。中に含まれている致命的欠陥にも気づかず、日本人はまじめにそれを受け継いだ。それはますます権威として立ち現れることとなり、その結果、それをよりどころに育つ研究者たちは、自然と、その権威に敵対する論議をしないようになった。

[国語文法の世界で重要なこと]

科学の世界であれば、議論を評価する基準は、現実をうまく説明できるかどうかということである。……国語文法の世界は違う。現実の説明は、しょせん出来ないのだから、しなくてよい。現実の説明よりは、もっと重要なことがある。それは、権威者の議論に沿った形で議論が進められているかどうかということである。このほうがずっと重要なのである。

[国語文法は科学ではない]

現実の説明しなくてよい。したくても方法がないのだからしょうがない。……この態度が、国語文法を科学から遠ざけた。国語文法には、このように、そもそも現実を説明しようという気構えがない。説明の方法を模索しようという意欲もない。……現実を説明することを放棄しているのだから、国語文法は科学ではない。こう結論づけざるを得ない。

[日本語構造伝達文法は唯一の日本語科学文法]

日本語構造伝達文法は、現実を説明することに正面から向き合っている。

- ① 生物は事象を集合として捉える
- ② 形態素を明確にする
- ③ 判断の構造を明らかにし、その表層化の方法を明らかにする
- ④ 歴史的な言語変化も考慮する
- ⑤ 音声変化も考慮する

このように考えて、説明方法を確立した。このような文法はほかにない。